

科目名称	病理学	学年学期	単位数	時間数
		第1学年 前期	1	30
担当教員	濱井 盟子	授業に関わる 実務経験	☐ 有 () ☒ 無	

【1】授業概要

病理学は解剖学、細胞生物学、生理学、生化学などの基盤の上に存在し、他方では臨床医学と密接な関係を持つ、病気及び病的状態の本質について研究する学問である。

【2】学習目標

1. 病気になる原因を説明することができる。
2. 病気の体への影響を疫学、症候、肉眼的及び組織学的変化を説明することができる。
3. 専門用語を習得することができる。

【3】第1看護学科ディプロマ・ポリシーとの関連性

- ☒ 1. 人間を理解し、倫理的な態度で看護を実践する力
- ☐ 2. あらゆる対象に応じた看護を実践する力
- ☐ 3. 地域の特性を看護に生かす力
- ☐ 4. 保健・医療・福祉システムにおける連携・協働できる力
- ☒ 5. 主体的に学び続ける力

【4】授業計画

	内容	主な授業形態
1	病理学の領域、細胞・組織とその障害について学ぶ。	講義
2	再生と修復、循環障害について学ぶ。	講義
3	炎症、免疫とアレルギーについて学ぶ。	講義
4	感染症、代謝異常について学ぶ	講義
5	老化と老年病、新生児の病理について学ぶ。	講義
6	先天異常、腫瘍について学ぶ。	講義
7	生命の危機、循環器系について学ぶ。	講義
8	呼吸器系、歯・口腔系について学ぶ。	講義
9	消化器系、内分泌系について学ぶ。	講義
10	造血器系、腎・尿路系について学ぶ。	講義
11	生殖器・乳腺、脳・神経系について学ぶ。	講義
12	運動器系、感覚器系について学ぶ。	講義
13	病理診断検査、熱傷について学ぶ。	講義
14	創傷の治癒過程、熱中症について学ぶ。	講義
15	試験・まとめ	

【5】評価方法

科目評価は、試験によって評価をする。

【6】教科書

大橋 健一: 系統看護学講座 専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進 1 病理学(第6版) 医学書院 2025 (電子版)

【7】参考書

なし

【8】受講生へのメッセージ

本科目は、医学的な知識を看護につなげる科目です。楽しく学びましょう。